

科目名	医療概論(+12章)			授業方法	講義	担当者名	水元 一博
学科	医療事務科	学年	1年	学期	前期	単位	1単位(30時間)
実務経験	1981年6月～九州大学医学部付属病院 第一外科研修医 1994年度～1999年度:九州大学 医学部 助手 2000年度～2001年度:九州大学 医学部 附属病院 助手 2002年度:九州大学 医学部附属病院 講師 2005年度:九州大学 病院 講師 2003年度～2006年度:九州大学 大学病院 講師 2007年度～2020年度:九州大学 大学病院 准教授 2021年度～2022年度:国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 教授 2023年度～ 福岡国際医療福祉大学看護学部 教授			資格等	医師(医籍番号 第258092号)		

《授業内容・意義・ねらい・到達目標一》

目的:

医学を社会的に適用させてはじめて医療が成り立つものである。したがって、医学と医療に関する歴史の変遷をしながら、医療の現状を理解することを目的とした。

また、医療成立の原則と、医の倫理に関して理解を深める必要がある。

一方、医療は母体となる社会構造(社会資源)を基礎として成り立っている。したがって、社会保障制度の枠組みである「所得保障」、「医療保障」、「公衆衛生」、「社会福祉」の原則と実態を知り、社会規範である関連法規である関連法規の知識を得て、医療の社会的役割を総合的に理解する。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅰ:基礎・医学編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理Ⅱ:医療用語編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:基礎	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、1. 医学と医療	
第2回	1. 医学と医療	
第3回	2. 医の倫理	
第4回	3. 脳死と臓器移植	
第5回	4. 診療情報提供	
第6回	5. 社会保障制度	
第7回	6. 医療制度	
第8回	6. 医療制度	
第9回	7. 医療関連法規	
第10回	8. 地域保健と公衆衛生(地域保健の組織と活動)	
第11回	9. 包括医療(保健・医療・福祉)	
第12回	医学用語 造語の基本、主な接頭語、接尾語	
第13回	医学用語 用語についての基本的な考え方	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	

科目名	人体構造・機能論(+第12章)			授業方法	講義	担当者名	濱本 邦洋
学科	医療事務科	学年	1年	学期	後期	単位	1単位(30時間)
実務経験	昭和51年6月～福岡大学病院 臨床研修医(小児科) 昭和56年～福岡大学医学部 助手(小児科学) 平成2年4月～福岡大学病院 講師(小児科) 平成18年4月～福岡大学筑紫病院 助教授(小児科部長) 平成19年10月～国際医療福祉大学 福岡リハビリテーション学部 教授			資格等	医師(医籍番号 第231018号)		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:

ここでは、人体の基本的仕組みを系統的に理解すること(解剖学、組織学)と、その働き(生理学)を学び、生命の「いとなみ」の基本を理解することを目的とする。

そのためには器官、臓器が構成要素であるどのような細胞、組織から成り立ち、いかに他の器官と連携をもち、機能的にどのような連携作業をして、人体としてのいとなみに関わっているのか理解する。

これらの知識は、診療記録に記載されている内容の基本的な人体の部位、診断名の理解に必須である。

また、疾病の機序や病態の理解、さらには実際に行われる治療手段の理解にも役立つ。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅰ：基礎・医学編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理Ⅱ：医療用語編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題：基礎	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、1. 細胞	
第2回	1. 細胞	
第3回	2. 組織	
第4回	2. 組織	
第5回	3. 器官	
第6回	3. 器官	
第7回	4. 呼吸器の構造と機能	
第8回	5. 循環器の構造と機能	
第9回	6. 消化器の構造と機能	
第10回	6. 消化器の構造と機能	
第11回	7. 泌尿器系の構造と機能	
第12回	8. 上肢・下肢の骨と筋肉	
第13回	医学・医療用語 用語についての基本的考え方	
第14回	医学・医療用語、定期試験	
第15回	2章の振り返り、解答解説	

科目名	医療管理総論			授業方法	講義	担当者名	下戸 稔
学科	医療事務科	学年	1年	学期	前期	単位	1単位(30時間)
実務経験	平成元年 7月～平成15年 7月津久見中央病院医事課勤務、平成 15年 8月～令和 4年 3月大分赤十字病院(医療業務支援課)勤務、令和5年4月～高邦会高木病院(診療情報管理部)勤務			資格等	診療報酬請求事務能力認定試験合格(H7) 診療情報管理士(H9)、診療情報管理士指導者(H21) 医療情報技師(H17)		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:

医療の成立における社会資源の必要性を理解し、医療関連職種である「人的資源」、医療施設や設備、機器、薬剤、衣料資材などの「物的資源」、医療の経営基盤である医療保険制度を中心とした「財的資源」を具体的に理解する。

医療の需要と供給の関係は、患者と医師の人間関係の理解のうえに成り立っており、基盤となる社会体制における基本的事項の理解が必要である。

そこで、わが国の医療提供システムの特徴を知り、特徴的なわが国の医療保険制度を理解し、医療の実務に対応するための知識を充実させることが主な目的である。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ:専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、1-1 医療資源	
第2回	1-1 医療資源	
第3回	1-1 医療資源	
第4回	1-1 医療資源	
第5回	1-2 日本の医療制度	
第6回	1-2 日本の医療制度	
第7回	1-2 日本の医療制度	
第8回	1-3 医療の需要と供給	
第9回	1-4 地域医療(医療供給体制)	
第10回	1-4 地域医療(医療供給体制)	
第11回	1-5 医療関連の法規定	
第12回	1-5 医療関連の法規定	
第13回	1-5 医療関連の法規定	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	

科目名	診療情報管理Ⅱ			授業方法	講義	担当者名	下戸 稔
学科	医療事務科	学年	1年	学期	後期	単位	1単位(30時間)
実務経験	津久見中央病院(医事課14年)、大分赤十字病院(診療情報管理室～医療業務支援課 計19年間)。その他、別府溝部学園短期大学にて診療情報管理講座担当(15年間)。専門学校大原学園にて診療情報管理講座担当(3年間)など			資格等	診療情報管理士、診療情報管理士指導者 医療情報技師		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

目的:  
 診療情報管理士の専門性について理解し、医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力の基礎を身に付ける。  
 診療情報管理を実施する場で容易に想起され、応用可能な基礎知識を習得する。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ: 専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題: 専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、9-1 診療情報管理士について	
第2回	9-2 診療情報管理士に求められる資質	
第3回	9-3 診療情報管理士の基本業務	
第4回	9-3 診療情報管理士の基本業務	
第5回	9-4 個人情報保護の視点からの保管管理	
第6回	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理	
第7回	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理	
第8回	9-6 電子カルテ運用における診療情報管理	
第9回	9-6 電子カルテ運用における診療情報管理	
第10回	9-7 診療情報の提供に係る業務	
第11回	9-7 診療情報の提供に係る業務	
第12回	9-8 診療情報管理士による改善への取り組み	
第13回	9-9 診療情報管理士の活動組織	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	



科目名	臨床医学各論A			授業方法	講義	担当者名	田川 辰也
学科	医療事務科	学年	2年	学期	前期	単位	2単位(60時間)
実務経験	田川辰也 平成1年6月～九州大学医学部附属病院 内科 研修医 平成5年7月～山口赤十字総合病院 内科 医師 平成14年1月～九州大学医学部附属病院 循環器内科 医員 平成16年4月～琉球大学大学院医学研究科 薬物作用制御学助教授 平成31年4月～福岡国際医療福祉大学 医療学部 理学療法学科 教授			資格 得	医師(医籍番号 第320793号)		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

臨床医学総論 目的: 医学は人体の仕組みを明らかにし、病気の原因、病態、診断、治療、予防、予後などについて研究する学問であり、基礎医学に分かれている。両者は渾然一体になって人類の福祉に貢献している。診断は一般的に問診、理学的診察、一般検査(基本検査)、特殊検査法(超音波検査、CT、MRI、内視鏡など)から成り立っている。治療法では非侵襲的治療と侵襲的治療、あるいは原因療法、対症療法などがある。なお、先天性疾患、外因性傷病等を含む。
臨床医学各論Ⅰ 目的: 臨床医学各論では、死因別、部位別等に分類されている各疾病について、その分類の意味とその原因、症状、所見、診断根拠、治療法などの概要を理解し、疾病の適切なICDコーディングにつながる基礎知識を修得することを目的とする。ここでは、感染症の原因となる細菌、ウイルスなどについての知識を修得し、各感染症の特徴、症状・所見、診断法、治療などの知識を深め、感染症患者の各種診療記録の内容を理解できることをめざす。
臨床医学各論Ⅱ 目的: 新生物(腫瘍)は身体のすべての臓器・組織に発生する疾患として、全診療科で扱われる重要な疾患群である。したがって、新生物の分類、診断法、治療法は、その性質、発生部位等から多岐にわたる。ここでは、新生物の発生組織・臓器、良性・悪性、原発性、続発性、転移性等新生物の概要を理解するとともに、わが国における主要な新生物を中心に、新生物の多彩な診断法、治療法を学び、適切なICD分類に結びつく基本的知識を修得することを目的とする。

《評価方法》

<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。</li> <li>・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。</li> </ul>
--

《履修上の留意点》

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。</li> <li>・授業中の居眠りをしないよう心がけること。</li> <li>・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。</li> </ul>
---

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅰ：基礎・医学編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理Ⅱ：医療用語編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題：基礎	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、健康と病気	
第2回	健康と病気	
第3回	健康と病気	
第4回	先天奇形、変形及び染色体異常	
第5回	先天奇形、変形及び染色体異常	
第6回	先天奇形、変形及び染色体異常	
第7回	損傷、中毒及びその他の外因の影響	
第8回	損傷、中毒及びその他の外因の影響	
第9回	医学・医療用語	
第10回	定期試験、解答解説	
第11回	オリエンテーション(授業の進め方)、感染症及び寄生虫症	
第12回	感染症及び寄生虫症	
第13回	感染症及び寄生虫症	
第14回	感染症及び寄生虫症	
第15回	感染症及び寄生虫症	
第16回	感染症及び寄生虫症	
第17回	感染症及び寄生虫症	
第18回	感染症及び寄生虫症	
第19回	医学・医療用語	
第20回	定期試験、解答解説	
第21回	オリエンテーション(授業の進め方)、新生物<腫瘍>	
第22回	悪性新生物<腫瘍>	
第23回	悪性新生物<腫瘍>	
第24回	悪性新生物<腫瘍>	
第25回	悪性新生物<腫瘍>	
第26回	悪性新生物<腫瘍>	
第27回	悪性新生物<腫瘍>	
第28回	悪性新生物<腫瘍>	
第29回	医学・医療用語	
第30回	定期試験、解答解説	

科目名	臨床医学各論B			授業方法	講義	担当者名	田川 辰也
学科	医療事務科	学年	2年	学期	通年	単位	2単位(60時間)
実務経験	九州大学医学部付属病院・山口赤十字総合病院・済生会福岡総合病院・シドニー大学・北九州市立医療センター・琉球大学医学部・西南女学院大学・福岡国際医療福祉大学など 計34年 臨床と教学			資格等	医師(医籍番号 第320793号)		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

臨床医学各論Ⅲ 目的:

血液・造血器、栄養・代謝、内分泌系等の障害により、病態が全身に関わる各疾病について、それらの特徴と症状・所見、診断法、治療法等を学ぶことを目的とする。膠原病、リウマチ疾患については、ICD分類上は主に循環器疾患や総合織疾患として分類されているが、重要な全身疾患群としてこの項で基本的知識を修得する。

臨床医学各論Ⅳ 目的:

各論Ⅳ以降では、主として部位別、臓器別疾患分類となっている。各疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。ここでは、脳と神経系の疾患、眼、耳、「精神および行動」の障害など感覚系疾患について学ぶ。

臨床医学各論Ⅱ 目的:

ここでは、生命の維持に直接関わる呼吸器・循環器系の疾患について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅰ：基礎・医学編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理Ⅱ：医療用語編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題：基礎	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、血液及び造血器の疾患並びに免疫構造の疾患	
第2回	血液及び造血器の疾患並びに免疫構造の疾患	
第3回	血液及び造血器の疾患並びに免疫構造の疾患	
第4回	血液及び造血器の疾患並びに免疫構造の疾患	
第5回	内分泌、栄養及び代謝疾患	
第6回	内分泌、栄養及び代謝疾患	
第7回	内分泌、栄養及び代謝疾患	
第8回	内分泌、栄養及び代謝疾患	
第9回	医学・医療用語	
第10回	定期試験、解答解説	
第11回	オリエンテーション(授業の進め方)、精神及び行動の障害	
第12回	精神及び行動の障害	
第13回	神経系の疾患	
第14回	神経系の疾患	
第15回	眼及び付属器の疾患	
第16回	眼及び付属器の疾患	
第17回	耳及び乳様突起の疾患	
第18回	耳及び乳様突起の疾患	
第19回	医学・医療用語	
第20回	定期試験、解答解説	
第21回	オリエンテーション(授業の進め方)、循環器系の疾患	
第22回	循環器系の疾患	
第23回	循環器系の疾患	
第24回	循環器系の疾患	
第25回	呼吸器系の疾患	
第26回	呼吸器系の疾患	
第27回	呼吸器系の疾患	
第28回	呼吸器系の疾患	
第29回	医学・医療用語	
第30回	定期試験、解答解説	

科目名	臨床医学各論C			授業方法	講義	担当者名	水元 一博
学科	医療事務科	学年	2年	学期	後期	単位	2単位(60時間)
実務経験	1981年6月～九州大学医学部付属病院 第一外科研修医 1994年度～1999年度:九州大学 医学部 助手 2000年度～2001年度:九州大学 医学部・附属病院 助手 2002年度:九州大学 医学部附属病院 講師 2005年度:九州大学 病院 講師 2003年度～2006年度:九州大学 大学病院 講師 2007年度～2020年度:九州大学 大学病院 准教授 2021年度～2022年度:国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 教授 2023年度～ 福岡国際医療福祉大学看護学部 教授			資格等	医師(医籍番号 第258092号)		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

臨床医学各論Ⅲ 目的:  
 ここでは、腹部に位置する各種臓器(消化器系、泌尿器系)、疾患について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。

臨床医学各論Ⅳ 目的:  
 ここでは、周産期疾患について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。また、“妊娠の成立”から母体の変化、胎児の発育、分娩までの基本を学び、さらに、周産期の障害と感染症、胎児・新生児に関わる障害を理解する。ICD分類との関係を把握することを目的とする。

臨床医学各論Ⅱ 目的:  
 ここでは、身体の形態、運動器に関わる骨、筋肉、関節、皮膚などの疾患について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅰ:基礎・医学編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理Ⅱ:医療用語編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:基礎	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、消化器系の疾患	
第2回	消化器系の疾患	
第3回	消化器系の疾患	
第4回	消化器系の疾患	
第5回	腎尿路生殖器系の疾患	
第6回	腎尿路生殖器系の疾患	
第7回	腎尿路生殖器系の疾患	
第8回	腎尿路生殖器系の疾患	
第9回	医学・医療用語	
第10回	定期試験、解答解説	
第11回	オリエンテーション(授業の進め方)、妊娠、分娩及び産じょく<褥>	
第12回	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	
第13回	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	
第14回	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	
第15回	周産期に発生した病態	
第16回	周産期に発生した病態	
第17回	周産期に発生した病態	
第18回	周産期に発生した病態	
第19回	医学・医療用語	
第20回	定期試験、解答解説	
第21回	オリエンテーション(授業の進め方)、皮膚及び皮下組織の疾患	
第22回	皮膚及び皮下組織の疾患	
第23回	皮膚及び皮下組織の疾患	
第24回	筋骨格系及び結合組織の疾患	
第25回	筋骨格系及び結合組織の疾患	
第26回	筋骨格系及び結合組織の疾患	
第27回	筋骨格系及び結合組織の疾患	
第28回	筋骨格系及び結合組織の疾患	
第29回	医学・医療用語	
第30回	定期試験、解答解説	

科目名	医療管理各論 I			授業方法	講義	担当者名	田中 宏和
学科	医療事務科	学年	2年	学期	前期	単位	1単位( 30時間 )
実務経験	柳川リハビリテーション学院医事課で6年、山王病院医事課で5年、福岡山王病院医事課長として9年			資格等	診療情報管理士		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

目的:

病院は医療の実践の場である。施設・機器・構成員そして患者を含めた利用者など、全てが有機的に機能してこそ、医療が有効に実践され、医療の質の向上というテーマは、病院運営において車の両輪にたとえられる大命題となっている。

本章では、その病院を的確に維持、運営していく上で重要な、病院の経営管理をはじめとする基礎的な知識を身につけることが目的である。

まず、病院という組織が、その使命を達成するために、そしてそれを維持していくためには、しっかりとした経営管理が必要であり、その組織が医療機関としての機能を果たすためには、様々な医療の専門職を有効に結びつけるための医療管理が必要である。

特に近年では、高度化、複雑化する医療の在り方が問われ、チーム医療を中心とした多職種協働の医療提供体制が注目されている。

診療情報管理士が病院運営に関わっていくうえで、患者が安心して受診し、地域に必要とされる医療機能を維持するためには、これらのことを十分に理解しておく必要がある。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ: 専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題: 専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、2-1 病院の運営管理	
第2回	2-1 病院の経営管理	
第3回	2-1 病院の経営管理	
第4回	2-1 病院の経営管理	
第5回	2-1 病院の経営管理	
第6回	2-2 医療管理	
第7回	2-2 医療管理	
第8回	2-2 医療管理	
第9回	2-2 医療管理	
第10回	2-2 医療管理	
第11回	2-2 医療管理	
第12回	2-3 チーム医療	
第13回	2-3 チーム医療	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	



科目名	医療管理各論Ⅱ			授業方法	講義	担当者名	田中 宏和
学科	医療事務科	学年	2年	学期	前期	単位	1単位(30時間)
実務経験	柳川リハビリテーション学院医事課で6年、山王病院医事課で5年、福岡山王病院医事課長として9年			資格等	診療情報管理士		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:

わが国の医療制度は、ますます複雑なものになってきている。  
 大きな特徴の一つである、国民皆保険制度を維持していくには、国民総医療費の抑制を含めた医療制度改革が求められ、とくに診療報酬制度については、DPC制度導入をはじめ、大きな変化が続いている。  
 診療報酬は、診断名や診療行為等が規則に基づいて適正に記録され、管理されていることが前提であり、このため診療情報管理において、診療情報管理士に期待がかかる場所である。  
 ここでは、まず、社会保険制度としての医療保険、介護保険を理解し、診療報酬制度および診療報酬請求業務までを学ぶ。  
 これまでの出来高請求から、診断群分類(DPC)を活用した包括評価請求まで、診療報酬請求業務全般を知ることを通して、診療情報管理の重要性への理解を深めたい。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ：専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題：専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、3-1 医療保険制度	
第2回	3-1 医療保険制度	
第3回	3-1 医療保険制度	
第4回	3-1 医療保険制度	
第5回	3-1 医療保険制度	
第6回	3-1 医療保険制度	
第7回	3-2 わが国の診断群分類	
第8回	3-2 わが国の診断群分類	
第9回	3-2 わが国の診断群分類	
第10回	3-2 わが国の診断群分類	
第11回	3-2 わが国の診断群分類	
第12回	3-3 介護保険制度	
第13回	3-3 介護保険制度	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	

科目名	医療管理各論Ⅲ			授業方法	講義	担当者名	田中 宏和
学科	医療事務科	学年	2年	学期	後期	単位	1単位( 30時間 )
実務経験	柳川リハビリテーション学院医事課で6年、山王病院医事課で5年、福岡山王病院医事課長として9年			資格等	診療情報管理士		

《授業内容・意義・ねらい・到達目標》

目的:

質の高い安全な医療を提供するためには、医療安全管理と医療の質管理は、極めて重要である。  
医療事故を未然に防止すること、事故後の適切な対応が医療安全活動の本質といわれ、2015年に始まった医療事故調査制度は医療の安全を確保するために医療事故の原因究明と再発防止を行うことを目的としている。  
医療の質管理も医療安全と密接に関連し、診療情報管理士は、それらの本質を理解することが求められ、期待される役割は、年々大きくなっている。  
さらには、DPC/PDPSやNDBなど診療報酬請求制度におけるデータ活用は、医療の質や経営の質のみならず病院の将来を決定する計画策定のための重要指標となる。  
診療情報管理業務が拡大するなかで、必要な基礎知識を深め、その対応力を備えることを目的としている。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ: 専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題: 専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、4-1 安全管理(セーフティマネジメント)	
第2回	4-1 安全管理(セーフティマネジメント)	
第3回	4-1 安全管理(セーフティマネジメント)	
第4回	4-1 安全管理(セーフティマネジメント)	
第5回	4-1 安全管理(セーフティマネジメント)	
第6回	4-2 医療の質管理	
第7回	4-2 医療の質管理	
第8回	4-2 医療の質管理	
第9回	4-2 医療の質管理	
第10回	4-3 診療情報管理における診療報酬請求データの活用	
第11回	4-3 診療情報管理における診療報酬請求データの活用	
第12回	4-3 診療情報管理における診療報酬請求データの活用	
第13回	4-3 診療情報管理における診療報酬請求データの活用	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	

科目名	医療統計Ⅰ			授業方法	講義	担当者名	下戸 稔
学科	医療事務科	学年	2年	学期	前期	単位	1単位(30時間)
実務経験	津久見中央病院(医事課14年)、大分赤十字病院(診療情報管理室～医療業務支援課 計19年間)。その他、別府溝部学園短期大学にて診療情報管理講座担当(15年間)。専門学校大原学園にて診療情報管理講座担当(3年間)など			資格等	診療情報管理士、診療情報管理士指導者 医療情報技師		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:

医療における意思決定は診療情報に基づいて行われる。  
 診療情報管理士は、診療記録の管理だけでなく、診療記録に含まれる診療情報を活用し、医療施設、医療職、患者、さらに医療政策を支援し、医療の質向上に寄与することが求められている。  
 そこで、医療統計Ⅰでは診療情報を活用するための基礎として統計処理の基礎知識、根拠に基づいた医療、データ処理の実際を学び、診療情報管理士に求められる診療情報のクオリティマネジメントの考え方を身に付けることを目的とする。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ: 専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題: 専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、6-1 医療統計学の基本的な用語	
第2回	6-2 データを要約する	
第3回	6-3 確率と確立分布	
第4回	6-4 正規分布	
第5回	6-4 正規分布	
第6回	6-5 2つの変数の相関を調べる	
第7回	6-5 2つの変数の相関を調べる	
第8回	6-6 一方の変数からもう一方の変数の値を予測する(回帰分析)	
第9回	6-7 推測検定の基礎	
第10回	6-8 推定(Estimation)	
第11回	6-9 仮説検定	
第12回	6-9 仮説検定	
第13回	6-10 医学でよく使う仮説検定	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	

科目名	医療統計Ⅱ			授業方法	講義	担当者名	下戸 稔
学科	医療事務科	学年	2年	学期	後期	単位	1単位(30時間)
実務経験	津久見中央病院(医事課14年)、大分赤十字病院(診療情報管理室～医療業務支援課 計19年間)。その他、別府溝部学園短期大学にて診療情報管理講座担当(15年間)。専門学校大原学園にて診療情報管理講座担当(3年間)など			資格等	診療情報管理士、診療情報管理士指導者 医療情報技師		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

目的:

前章では統計の理論を学んだことに続いて、この章では具体的に求められる成果を解説し、診療情報管理士が病院統計の知識を身に付けることを目的とする。

まず、情報化の手段として基本的なグラフ表現と実際に求められる病院統計の手法を学ぶ他、単なるテクニカルな面に終わることなく、データを扱う上での研究方法や倫理を学ぶ。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ：専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題：専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、7-1 データのグラフ表現	
第2回	7-1 データのグラフ表現	
第3回	7-1 データのグラフ表現	
第4回	7-1 データのグラフ表現	
第5回	7-1 データのグラフ表現	
第6回	7-2 病院の統計資料	
第7回	7-2 病院の統計資料	
第8回	7-2 病院の統計資料	
第9回	7-2 病院の統計資料	
第10回	7-2 病院の統計資料	
第11回	7-2 病院の統計資料	
第12回	7-3 臨床研究の主な手法	
第13回	7-3 臨床研究の主な手法	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	



科目名	診療情報管理 I			授業方法	講義	担当者名	下戸 稔
学科	医療事務科	学年	2年	学期	前期	単位	1単位(30時間)
実務経験	津久見中央病院(医事課14年)、大分赤十字病院(診療情報管理室～医療業務支援課 計19年間)。その他、別府溝部学園短期大学にて診療情報管理講座担当(15年間)。専門学校大原学園にて診療情報管理講座担当(3年間)など			資格等	診療情報管理士、診療情報管理士指導者 医療情報技師		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:

診療情報管理を実現するための基礎として診療情報の重要性を理解し、診療情報を適切に取り扱い責任ある情報管理を行う能力を身に付ける。

ここでは診療情報管理の意義と役割について系統的に学習するとともに、診療情報管理に関わる法令や諸規則を含め、診療情報の記載方法が機能的にどのような構成やルールをとっているかについて学ぶ。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ:専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、8-1 診療情報管理の意義と役割	
第2回	8-1 診療情報管理の意義と役割	
第3回	8-2 診療情報管理の歴史	
第4回	8-2 診療情報管理の歴史	
第5回	8-3 診療情報管理と法規等	
第6回	8-3 診療情報管理と法規等	
第7回	8-3 診療情報管理と法規等	
第8回	8-4 診療記録の記載方式	
第9回	8-4 診療記録の記載方式	
第10回	8-4 診療記録の記載方式	
第11回	8-5 診療情報の記載	
第12回	8-5 診療情報の記載	
第13回	8-5 診療情報の記載	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	

科目名	診療情報管理Ⅲ			授業方法	講義	担当者名	下戸 稔
学科	医療事務科	学年	2年	学期	後期	単位	1単位(30時間)
実務経験	津久見中央病院(医事課14年)、大分赤十字病院(診療情報管理室～医療業務支援課 計19年間)。その他、別府溝部学園短期大学にて診療情報管理講座担当(15年間)。専門学校大原学園にて診療情報管理講座担当(3年間)など			資格等	診療情報管理士、診療情報管理士指導者 医療情報技師		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:

前章(Ⅰ)と(Ⅱ)に続いて、ここでは、診療情報管理士が実務として関わる事が非常に多い、DPC業務や医師事務作業補助者業務、がん登録業務等について、実際に実務上求められることを踏まえて、実務者の視点から学習する。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ：専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題 専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、10-1 DPC制度と実務	
第2回	10-1 DPC制度と実務	
第3回	10-1 DPC制度と実務	
第4回	10-1 DPC制度と実務	
第5回	10-1 DPC制度と実務	
第6回	10-2 医師事務作業補助者業務について	
第7回	10-2 医師事務作業補助者業務について	
第8回	10-2 医師事務作業補助者業務について	
第9回	10-2 医師事務作業補助者業務について	
第10回	10-3 がん登録の実務について	
第11回	10-3 がん登録の実務について	
第12回	10-3 がん登録の実務について	
第13回	10-3 がん登録の実務について	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	

科目名	国際統計分類 I			授業方法	講義・演習	担当者名	下戸 稔
学科	医療事務科	学年	2年	学期	前期	単位	1単位(30時間)
実務経験	津久見中央病院(医事課14年)、大分赤十字病院(診療情報管理室～医療業務支援課 計19年間)。その他、別府溝部学園短期大学にて診療情報管理講座担当(15年間)。専門学校大原学園にて診療情報管理講座担当(3年間)など			資格等	診療情報管理士、診療情報管理士指導者 医療情報技師		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:

- (1) わが国の人口動態統計のしくみと意義を理解する。
- (2) 人口動態統計に用いられる国際疾病分類(ICD)についての理解を深め、その歴史と現在の状況を理解する。
- (3) 国際統計分類群(ファミリー)に属するその他の分類体系についての理解を深め、健康情報に関する幅広いコード体系についての意義と問題点を理解する。
- (4) わが国に導入されているDPC/PDPS制度におけるICDの利用について理解する。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験に学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ：専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題：専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
疾病、傷病及び死因の統計分類提要 第1巻、第3巻		厚生労働統計協会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、11-1 国際疾病分類論	
第2回	11-1 国際疾病分類論	
第3回	11-1 国際疾病分類論	
第4回	11-1 国際疾病分類論	
第5回	11-1 国際疾病分類論	
第6回	11-2 国際統計分類ファミリー論	
第7回	11-2 国際統計分類ファミリー論	
第8回	11-2 国際統計分類ファミリー論	
第9回	11-2 国際統計分類ファミリー論	
第10回	11-3 国際疾病分類の利用	
第11回	11-3 国際疾病分類の利用	
第12回	11-3 国際疾病分類の利用	
第13回	11-3 国際疾病分類の利用	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	

科目名	国際統計分類Ⅱ			授業方法	講義・演習	担当者名	田中 宏和
学科	医療事務科	学年	2年	学期	通年	単位	2単位(60時間)
実務経験	柳川リハビリテーション学院医事課で6年、山王病院医事課で5年、福岡山王病院医事課長として9年			資格等	診療情報管理士		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

目的:

人体構造(解剖生理)、医学各論等で学習した知識を生かし、国際統計分類Ⅰの学習と関連付けながら、ICD-10の各章に沿った疾病統計分類を学習し、その特徴を踏まえて統計として正しい分類ができるよう理解を深める。  
また、退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を把握し、主症病名等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を習得する。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験に学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ: 専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題: 専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
疾病、傷病及び死因の統計分類提要 第1巻、第3巻		厚生労働統計協会	

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、12-1 国際疾病分類の基本	
第2回	12-1 国際疾病分類の基本、インデックス作成	
第3回	12-1 国際疾病分類の基本、インデックス作成	
第4回	12-2 各章の疾病分類の基本 第I章	
第5回	12-2 各章の疾病分類の基本 第II章	
第6回	12-2 各章の疾病分類の基本 第II章	
第7回	12-2 各章の疾病分類の基本 第III章	
第8回	12-2 各章の疾病分類の基本 第IV章	
第9回	12-2 各章の疾病分類の基本 第V章	
第10回	12-2 各章の疾病分類の基本 第VI章	
第11回	12-2 各章の疾病分類の基本 第VII章	
第12回	12-2 各章の疾病分類の基本 第VIII章	
第13回	12-2 各章の疾病分類の基本 第IX章	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	
第16回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X章	
第17回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X I章	
第18回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X II章	
第19回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X III章	
第20回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X IV章	
第21回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X V章	
第22回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X VI章	
第23回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X VII章	
第24回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X VIII章	
第25回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X IX章	
第26回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X X章	
第27回	12-2 各章の疾病分類の基本 第X X I章	
第28回	12-2 各章の疾病分類の基本 原死因コーディング	
第29回	定期試験	
第30回	解答解説	



科目名	実習前指導			授業方法	講義	担当者名	田中 宏和
学科	医療事務科	学年	2年	学期	前期	単位	1単位( 30時間 )
実務経験	柳川リハビリテーション学院医事課で6年、山王病院医事課で5年、福岡山王病院医事課長として9年			資格等	診療情報管理士		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:

病院実習とは、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことを指し、医療機関の協力を得て実践的な職業体験や将来の医療人を育成することを目的とする。

この実習では、病院業務の一端に触れることにより、仕事の流れや組織構造および組織における人間関係や社会的マナーを身に付け、学校で学んだ知識がどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることである。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
オリジナルテキスト			

## 《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	目標設定 + オリエンテーション等	
第2回	第1章 診療情報管理士の実習とは + 職業意識	
第3回	第2章 実習の意義 + 業務理解	
第4回	接遇マナー + アイコンタクト + シミュレーション	
第5回	受付業務 + ロールプレイング	
第6回	外来診療 + 診療録管理 + 会計業務 + ロールプレイング	
第7回	診療録の運用 + 個人情報保護法	
第8回	第4章 実習準備 + 実習ノート作成	
第9回	第5章 実習事前訪問 + 実習ノート作成	
第10回	第6章 実習前日から終了まで + 実習ノート説明	
第11回	第7章 実習日誌の扱い方 + 自己紹介書記入	
第12回	第8章 診療情報管理の実習内容例 + 自己紹介書記入	
第13回	第9章 実習評価 + 実習計画書作成	
第14回	実習に向けての課題検討及び研究発表会のテーマ設定 + 実習計画書作成	
第15回	第10章 実習を振り返る + お礼状記載練習	

科目名	病院実習			授業方法	実習	担当者名	田中 宏和
学科	医療事務科	学年	2年	学期	前期	単位	1単位(45時間)
実務経験	柳川リハビリテーション学院医事課で6年、山王病院医事課で5年、福岡山王病院医事課長として9年			資格等	診療情報管理士		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:  
 実際の医療現場で、診療情報管理業務や医療事務、医師事務作業補助などの実習を行う。  
 この実習では、医師や看護師、コメディカル等様々な職種とコミュニケーションを図り、実際の受付から情報管理、業務の流れに触れることで、組織における人間関係や社会的マナーを身に付けることを目標とする。  
 また、学校で学んだ知識がどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることでもある。

《評価方法》

- ・成績評価は、実習ノートの記載、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再実習の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・実数中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・実習中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・社会的マナーを遵守し、日常の笑顔でのあいさつを心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
実習ノート(オリジナル)			

